

水抜水栓柱 CNH-A

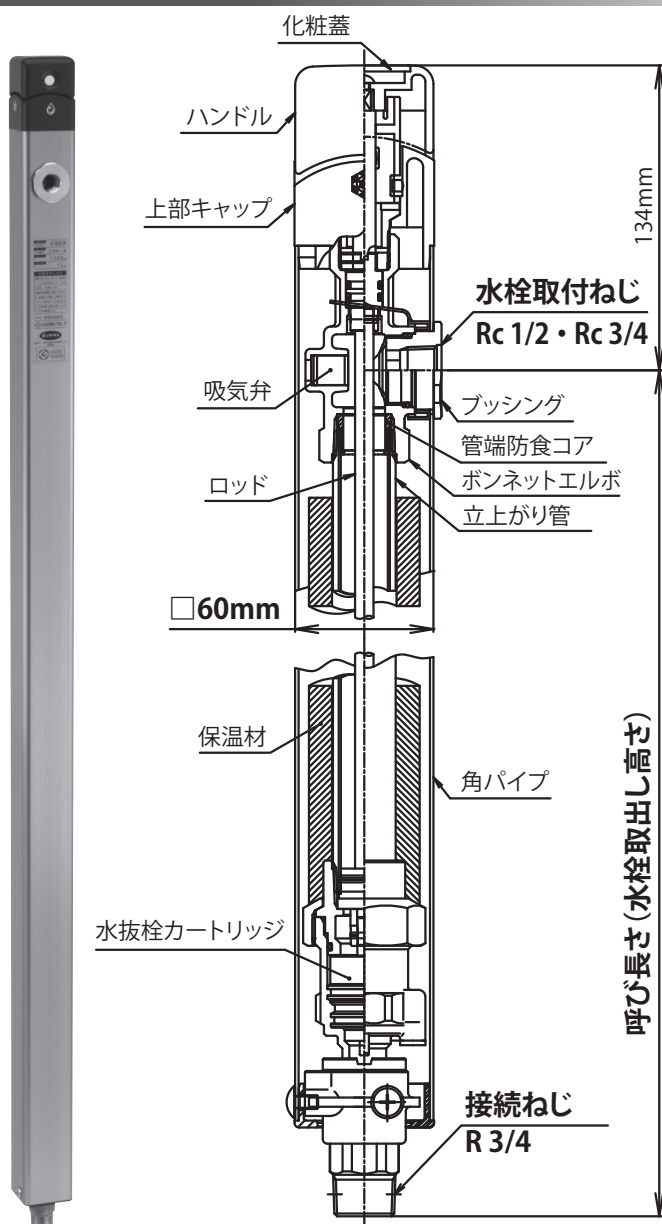
New イマジナ

※JWWA C-428

〔メンテナンス手順書〕

CNH-Aを設置して頂き、誠にありがとうございます。
ご使用の際、内部構造を交換する必要がある場合には、本書をよくお読みの上、
作業を行ってください。

構造



■品揃え・主要寸法表

商品記号	呼び径	呼び長さ (水栓取出し高さ)	水栓取付ねじ
CNH-A	13 13×20	0.6m	13=Rc 1/2 13×20=Rc 3/4
		0.8m	
		1.0m	
		1.2m	
		1.5m	
		1.65m	
		1.8m	
		2.0m	
		2.2m	

素敵な創造～人へ・未来へ



株式会社 日邦バルブ

用意して頂く工具・備品類

●作業を行う前に下記の工具・備品類をご用意願います。

- ・専用メンテナンス工具
(日邦バルブ製の専用工具です。お手元がない場合は、弊社支店・営業所等にお問い合わせください。)
- ・2mm 精密マイナスドライバ ・#2 プラスドライバ ・呼び14 六角レンチ
- ・呼び27 ディープソケット(L=83以上) ・ネジロック剤(ロックタイト 1324 等) 他

作業上のご注意

- ⚠️ ねじ部は鋭利なため直接素手で握らないでください。けがをする恐れがあります。軍手等をして作業してください。
- ⚠️ 作業中、部品の落下等にご注意ください。損傷によって漏水や故障の原因となります。

メンテナンスの手順

●ストレーナの清掃・交換や弁部を交換する場合には、以下の手順に従って作業を行ってください。また、図1等により部品組付け順序をよく確認しながら、作業を進めてください。

1：準備作業

- ・元バルブを閉じ、本機への送水を遮断します。メータ止水もしくは本機手前にバルブが設置されている場合は、それを閉じてください。
- ・止水後、器具内部及び配管内の残圧を開放するため、本機ハンドルにて通水・水抜操作を2～3回行ってください。
- ・ハンドル位置が必ず水抜側になっていることをご確認ください。水抜位置にない場合は、ハンドルを回して水抜位置にします。(図2)

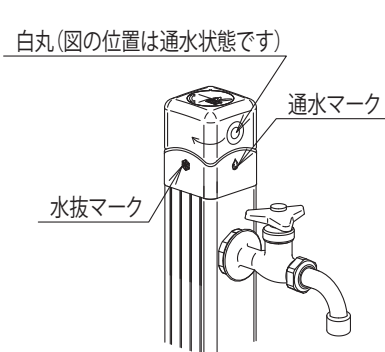


図2 分解前の水抜位置

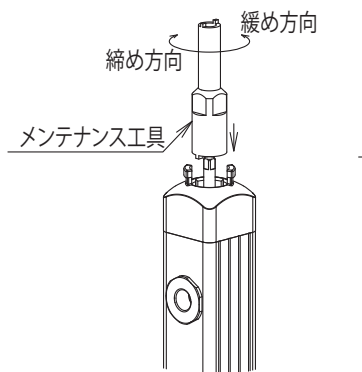


図3 キャップ押えナットの緩め方

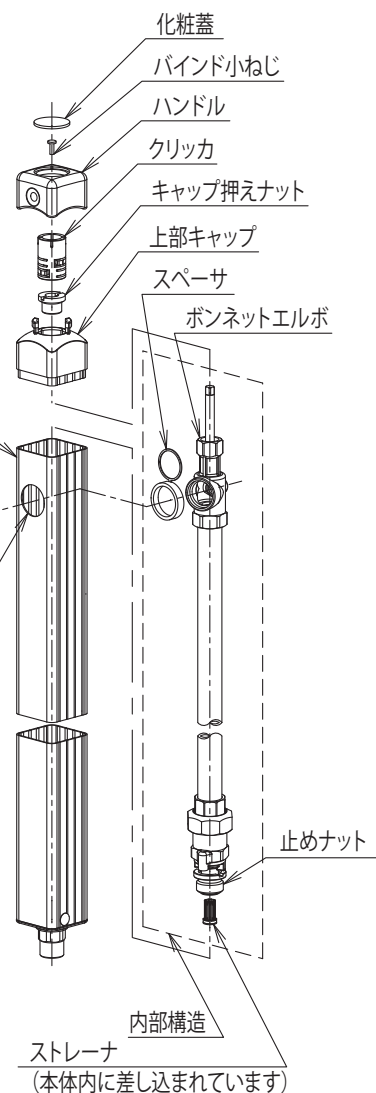


図1 部品組付け順序

2：ハンドル・上部キャップ取外し

- ・化粧蓋を取外します。化粧蓋は接着されていますので、切欠き部に2mmの精密ドライバ(マイナス)を差込み、持ち上げてください。
- ・バインド小ねじが見えますので、#2 プラスドライバを用いてバインド小ねじを緩め、ハンドルを取外します。ハンドルは比較的きつめに上部スピンドルにはめ込まれていますので、取外しの際には無理な力を掛けないように、まっすぐ上へ抜いてください。
- ・クリッカを抜き取り、メンテナンス工具を用いてキャップ押えナットを反時計回りに回して緩め、上部キャップを取外します。(図3)

3：ブッシング取外し

- ・給水栓を取外します。
- ・給水栓取付けねじ奥は六角穴になっています。呼び14の六角レンチを差込んで左に回し、ブッシングを取外します。
- ・ブッシングはスペーサを挟んでボンネットエルボに取付けられています。ブッシングを外した後にスペーサを取り出してください。
- ★スペーサは落下防止のループによってボンネットエルボ首部より吊下げられていますが、取外しの際は角パイプ内へ落とさないようにご注意ください。

4：内部構造取出し

- ・ボンネットエルボ上端六角部に、呼び27のディーブソケットを掛けます。
- ・ゆっくり左に回転させていきますと、いずれかの位置でバルブ本体リブと止めナットが嵌合します。このとき明らかな手応えを伴って内部構造がガクッと落ち込みますので、そこから更に左へ回転させ(目安としては約5回転)、止めナットを緩めて内部構造を取外し、角パイプ内より引上げます。

(図4)

- ★止めナットを緩める操作は、できるだけ内部構造が垂直を保った状態で行ってください。

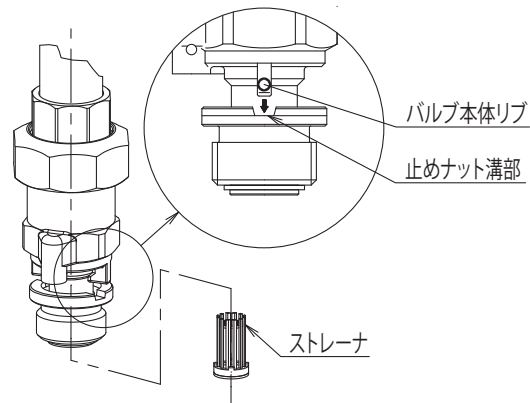


図4 バルブ本体のリブ構造

5：内部構造組付け

- ・角パイプ内に内部構造を挿入します。止めナットのねじ部を損傷しないよう、静かに下ろしてください。挿入前に、止めナット溝部にバルブ本体リブを嵌合させておくと、以後の操作が簡単です。
- ・取外しの際と同様、ディーブソケットを使用して内部構造を右方向に回し、止めナットをいっぱいまで締めます。
 - ★回し始めてすぐに回しにくくなるような場合は、ねじが噛んでいません。元に戻して内部構造をまっすぐにした後、再度行ってください。

6：ブッシング取付け

- ・取外したブッシングの接続ねじを、清掃しておいてください。
- ・内部構造を少し引上げるようにして、ボンネットエルボの向きを角パイプに合わせます。
- ・角パイプとボンネットエルボの間にスペーサを噛ませます。まず、落下防止ループをボンネットエルボ首部に掛けますが、スペーサを角パイプ内へ落とさないように注意してください。
- ・内部構造を少し引上げた状態に保持しつつ、角パイプ横穴とボンネットエルボの高さを合わせ、ブッシングをねじ込みます。
- ・取外しの際と同様、六角レンチを使用して締付けます。ブッシングとボンネットエルボが角パイプを噛み込まないようにご注意ください。
 - ★給水栓取付け時の緩み防止のため、ブッシングの取付けにはネジロック剤の併用をお願い致します。

7：上部キャップ・ハンドル取付け

- ・上部キャップは通水マークのある側が正面となります。上部キャップを入れ、キャップ押えナットを入れた後、専用メンテナンス工具を使用して締付け、固定します。(推奨締付けトルク：15.7～17.6N・m)
 - ★内部構造が下に落ちた状態では、キャップ押えナットが掛からない場合があります。内部構造を引上げた状態で、キャップ押えナットを締付けてください。
 - ・ブッシング・キャップ押えナット共々、緩みやガタつきのないことを確認してください。
 - ・クリッカを挿入し、クリッカの爪を上部キャップのV溝に合わせてください。
 - ・ハンドルを、○マーク(白丸)が通水位置に合うように差込みます。
 - ★修理用内部構造は、通水状態で供給されます。ハンドルを固定する前に通水位置にあることを確認の上、○マーク(白丸)を合わせてください。
 - ・バインド小ねじでハンドルを固定し、化粧蓋をはめ込みます。
 - ★化粧蓋の嵌合が緩い場合は、適宜、接着剤等の併用をお願い致します。
- 開閉操作を行い、取付け方向に間違いがないこと、また、作動に異常がないことを確認してください。

8：作業終了

- ・給水栓を取付け、一旦止水してから「1」において止水した元バルブを開きます。
- ・通水・水抜操作を行い、不具合や異常のないことを確認して作業終了です。



素敵な創造～人へ・未来へ

株式会社 日邦バルブ

本社・松本工場 〒399-8750 松本市笹賀3046
北海道工場 〒059-1362 苫小牧市柏原6-120

ISO 9001・14001 認証取得

<https://www.nippov.co.jp/>

東京、設備、関東、神奈川、札幌、仙台、松本、北関東、名古屋、大阪、広島、福岡



営業拠点はこちら
弊社Webサイト

この説明書に記載した内容は予告なく変更することがあります。
また、許容差のない数値は標準値を示します。呼び寸法・呼び径と実寸法とは同一ではありません。